

「履歴書・教育研究業績書」記入要領

履 歴 書

履 歴 書			
フリガナ 氏 名		性別	
生年月日(年齢)	(西暦) 年 月 日生 (満 才)	写真貼付 3×3.5cm 最近3ヶ月以内に撮影のもの	
現住所	〒 住所 連絡先 固定電話 携帯電話 メール		
現職名	職位		
学 歴			
年 月	事 項		
==年==月 ==年==月 ==年==月 ==年==月 ==年==月 ==年==月	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 学科入学 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 学科卒業 (○学士) <input type="checkbox"/> 大学大学院 <input type="checkbox"/> 研究科修士課程入学 <input type="checkbox"/> 大学大学院 <input type="checkbox"/> 研究科修士課程修了 (○○修士) <input type="checkbox"/> 大学大学院 <input type="checkbox"/> 研究科博士課程入学 <input type="checkbox"/> 大学大学院 <input type="checkbox"/> 研究科博士課程修了 (○○博士)		
==年==月	最終学歴 <input type="checkbox"/> 大学大学院 <input type="checkbox"/> 研究科博士課程修了 (○○博士)		
ワープロ等で数字を入力する場合は半角で記入する。英字についても半角で入力する。	① 大学、高等専門学校又は同等以上の学校卒業以上の学歴を有する者は、これらの学歴(学位、称号を含む)の全てを記入する。 ② ①以外の者は、最終学歴を記入する。 ③ 資格等についても記入する。 ④ 外国における資格については正確に記入する。またその資格の内容についても併記する。 ⑤ 外国留学は、学生としての場合は「学歴」欄に、研究者としての場合は「職歴」欄に記入する。 ⑥ 博士課程を出て博士号を取得していない場合の学歴は、「博士課程単位取得満期退学」と記入する。		
職 歴			
年 月	事 項		
==年==月 ==年==月 ==年==月 ==年==月	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 研究室助手 (==年==月まで) (株) <input type="checkbox"/> 研究所 入社 (株) <input type="checkbox"/> 研究所 副所長 (==年==月まで) <input type="checkbox"/> 大学非常勤講師 (現在に至る)		
	① 職歴の全てを記入する。		
学会及び社会における活動等			
年 月	事 項		
====年==月 ====年==月 ====年==月 ====年==月	<所属学会及び役職> 日本 <input type="checkbox"/> 学会会員 (現在に至る) 日本 <input type="checkbox"/> 学会幹事 (====年==月まで) <学術関係団体役員> 学術審議会専門委員 (○○分科会) (====年==月まで) 日本私立大学連盟 <input type="checkbox"/> 研究支援専門研修委員会委員 (現在に至る)		
	<公的な職能団体、研究団体を含みます> ① 専攻、研究分野等に関連した事項を記入する。 ② また、教育研究上の業績を有する場合はその内容を具体的に記入する。 ③ 所属学会等は正確に記入する。		
賞 罰			
年 月	事 項		

年月は全て西暦で記入してください。

最終学歴のみ最終学歴欄に記入してください。

ワープロ等で数字を入力する場合は半角で記入する。英字についても半角で入力する。

<公的な職能団体、研究団体を含みます>

「概要」欄は、200字程度で具体的に記入する。

ワープロ等入力する場合、英字・数字・記号は半角で記入する。  
句読点、カッコは全角で入力する。

### 教育研究業績書

(西暦) 年 月 日  
氏名

教育上の能力に関する事項	年月日	概要
<p>1 教育方法の実践例</p> <p>① 講義内容の Web 上での公開</p> <p>② 学生の授業外における学習促進のための取り組み</p> <p>① 優れた教育方法の実践例（英語による授業、少人数教育、小テスト、レポートによる持続的教育、問題発見、課題解決型授業の実施）を記入する。 ② マルチメディア機器を活用した授業方法（コンピュータ、ビデオ、スライド等の視聴覚教材を活用し、理解を深める等の取り組み）を記入する。 ③ 学生の授業外における学習促進のための取り組み（授業に関するアンケートの利用、講義、実習評価結果の活用、シバス等の工夫）を記入する。 ④ 講義内容の Web 上での公開等を記入する。</p>	<p>====年==月～</p> <p>====年==月～</p>	<p>〇〇研究室 HP&lt;http://www.〇〇/&gt;において講義内容等の情報を Web 上で公開している。</p> <p>修士論文、卒業論文の作成支援活動の一環として、〇〇ゼミメーリングリスト&lt;〇〇@freeml.com&gt;においてバーチャルゼミを実施している。</p>
<p>2 作成した教科書、教材</p> <p>〇〇〇(〇〇出版)</p> <p>① 作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要を記入する。（後の「著書、学術論文」との重複も可能ですが、その場合は、「著書、学術論文」に「(再掲)」と表示する。）</p>	<p>====年==月</p>	<p>〇論、〇演習等の授業科目のテキストとして使用。</p>
<p>3 実務家教員についての特記事項</p> <p>① 学会等の講演・研修での講師の経験</p> <p>② デザイン事務所等での後進の指導経験</p> <p>学外の団体・組織・企業などでの教育の実績</p> <p>① 大学から受け入れた実習生に対する指導歴（看護実習・福祉実習・企業実習等）を記入する。 ② 企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等の概要を記入する。 ③ 上記の他、所属機関や関係機関等において行った講義、講習、職員・関係者等に対する指導、海外等における留学、調査研究経験等を広く記入する。</p>		<p>専門分野に係わる講演を行った。</p> <p>〇〇研修において〇〇に関して指導を行った。</p>
<p>4 その他</p> <p>〇〇大学〇〇学部FD委員会委員</p> <p>① 大学教育改善に関する団体等での活動概要を記入する。 ② 教育実績に対する受賞歴等を記入する。</p>	<p>====年==月</p>	<p>〇〇学部のFD委員として、大学教員の教育能力の改善に関する業務に携わった。特に、大人数授業におけるPCシステムを用いた授業評価アンケートの処理の方法論について研究を行った。</p>

職務上の実績に関する事項	年月日	概要
<p>1 資格、免許</p> <p>① 資格・免許について、すべて記入する。 ② 教員免許、英検、TOEIC〇〇点、建築士資格などと、その取得（登録年月日等）、または資格に関する実務の経験年数などを記入する</p>	<p>〇〇年〇月</p>	<p>中学校教諭1級普通免許 (〇〇県教育委員会 昭〇〇中1 普第〇〇号)</p>
<p>2 特許等</p> <p>〇〇に関するシステム及び認証方法</p> <p>① 該当するものをすべて記入する。</p>	<p>〇〇年〇月出願</p>	<p>特許内容を記載 (特許第〇〇〇号)</p>
<p>3 実務家教員についての特記事項</p> <p>「職歴」欄に記入した事項を中心に、学外の団体・組織・企業などにおける各自の専門分野に関する実績を、下記の事項等を参考に記入する。</p> <p>① 従事した期間</p> <p>② 職務の内容(当該分野の活動・所属学会・研究会・NGO・ボランティア活動等のような職務に就いて、政策立案、プロジェクト等においてどのような役割を果たしたか)</p> <p>③ 成果、結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○芸術関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の概要</li> </ul> </li> <li>○博物館、美術館等関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当した展覧会の概要</li> <li>・執筆・監修した展覧会図録の概要</li> </ul> </li> <li>○情報技術者関係の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータに係る職務歴(職務上のコンピュータ活用法、ソフト・システム開発歴)</li> </ul> </li> <li>○マスコミ関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>・執筆した記事の概要</li> <li>・作成した番組の概要</li> </ul> </li> <li>○企業、官公庁等の研究者の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発した新製品・製法、作物等の新品種などの概要</li> <li>・大学との共同研究による研究実績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割</li> </ul> </li> <li>○その他、企業・団体等関係者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績</li> </ul> </li> <li>○福祉その他社会的活動の関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位</li> </ul> </li> <li>○スポーツ等実技関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者としての経歴・実績・資格</li> </ul> </li> <li>○その他全般を通じて</li> </ul>		
<p>4 その他</p> <p>① 上記1から3に該当するもの以外の事項について幅広く記入してください。 ② 学外の委員会委員を務めている、あるいは講演を行った等、職務上教育研究以外で行った事項で特筆すべきもの等を記入する。</p>		

個人の研究業績については、「著書、学術論文、その他」にご記入ください。  
ただし、研究業績が個人と団体・組織・企業との両方にまたがっている場合や、分別できない場合には、「職務上の実務に関する事項」の「実務家教員についての特記事項」欄と「著書、学術論文、その他」欄の両方に記入してください。  
その場合は、「著書、学術論文、その他」欄の概要の最後に（再掲）と記入してください。

著書、学術論文等の 名称	単著、 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
<p>(作品発表・個展等)</p> <p>著書、学術論文以外の業績について、次の分類・項目を参考に、各自で分かり易く項目を設定し、項目ごとに年代順に記入してください。</p> <p>a. 作品関係……【作品】、【個展】、【団体展・グループ展】、【収蔵】など</p> <p>※1) デザイン作品の場合は、作品タイトルの前に制作内容を示すサブタイトルを記入してください。 例：建築設計「〇〇〇〇ビル」 〇〇デザイン「製品名〇〇」 家具「as line chair/as line table」 インテリア設計「レストラン・焼肉フランス人」 ポスター「日本芸術ベニス会議」 ブックデザイン「現代世界のグラフィックデザイン」 シンボルマーク「〇〇銀行」 グラフィックアート「作品・太陽」</p> <p>※2) 作品の概要欄には、事例を参考に200字程度で具体的なデータを記入してください。</p> <p>※3) 作品が雑誌等に掲載された場合や、作品に対する評論やインタビューなどの取材については、作品の概要欄の最後に雑誌名・号・出版社名等および掲載ページなど、として記入してください。</p>				

著書、学術論文等の 名称	単著、 共著 の別	発行又は発 表の年月	発行所、発表雑誌等又は発 表学会等の名称	概 要
<p>(著書)</p> <p>1. ○○○の基礎</p> <p>2. ○○○時代の ○○○支援</p> <p>①年月目順(過去→ 現在)に記入し、各 区分(著書、学術 論文、その他)ご とに番号を付すこ と。 ②著書は単行本と して出版されてい るもので、辞書は 含まない。 ③辞書はその他に</p>	<p>単著</p> <p>共著</p>	<p>===年=月</p> <p>===年=月</p>	<p>○○出版</p> <p>○○出版</p>	<p>○○○の原理と構造、○○○と○○○操作、各種○ ○○の実際、○○○○○○の開催方法等について 解説。 総頁数 58 頁</p> <p>○○○における○○○機関の○○○支援の理念と 方法論、○○○と○○○技術の発展、○○○情報の 生産・○○○のための戦略等の解説・事例研究等。 ○○○研究会編、編集長○○○。 分担執筆○○○子、○○○男、○○○。 総頁数 336 頁。本人担当部分、第 6 章○○○○○ ○の発達(222 頁-333 頁)。第 8 章○○○と○○(444 頁-555 頁)</p> <p>それぞれの概要についてはページ数を 明確にし、簡潔に記入する(200字程 度)</p> <p>共著の場合は、本人の担当部分(概要 及び掲載頁(○○頁-○○頁)を示す。)を 明記し、本人の氏名を含め著作者全 員の氏名を当該著書、学術論文等に記 載された順(例：编者△△△△、分担 執筆○○○○、□□□□、××××) に記入してください。 なお、本人の担当部分を抽出するのが 困難な場合は、その理由を明記する。</p> <p>また、他者に引用された場合は、その 発表著書、学術論文における概要及び 掲載頁(○○頁-○○頁)を示す</p>

著書、学術論文等の 名称	単著、 共著 の別	発行又は発 表の年月	発行所、発表雑誌等又は発 表学会等の名称	概 要
(学術論文) 1. ○○○に関する研究	単著	〇〇〇年〇月	学位論文(〇〇大学)	本論文では・・・・・・・・

① 学位論文は最初に記載して下さい。

② 種類(学位論文、学術論文、その他の論文)ごとに区分し、それぞれを年月目順(過去→現在)に記入して、番号を付けてください。

③ 著書、学術論文等で発行又は学会誌等での発表予定のものについては、出版社や学会からのその旨の証明書を添付する。  
 なお、書類提出時以降に投稿予定のものは含めないでください。

著書、学術論文等の 名称	単著、 共 著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は発 表学会等の名称	概 要
<p>(その他)</p> <p>著書、学術論文以外の業績について、次の分類・項目を参考に、各自で分かり易く項目を設定し、項目ごとに年代順に記入してください。</p> <p>a. 口頭発表および著述関係……【書評】、【翻訳】、【科学研究費報告】、【学会発表】、【作品の評論】【エッセイ】など</p> <p>b. その他の活動……【講演】、【展覧会企画・監修・運営】、【調査・研究】、【ワークショップ】、【シンポジウムなど】など</p>				